

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 5 月 16 日

公表:令和 6 年 5 月 20 日

事業所名:キッズサポートてんぱく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・適切です。	・開かれた空間を引き続き維持していくため、物の配置や高さなどに気を配り、支援を行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切である	6		・より充実した支援が行えるよう、専門のスタッフの増員を図っていきます。	・これから継続していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	・構造化は行われているが、玄関やトイレ前など、段差があるため、改善に向けて検討しています。	・今後も、過ごしやすい空間になるよう、また、安全環境に向け、取り組んでまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・空気清浄機や加湿器を使用し、定期的に換気をして、清潔で快適な環境づくりをしています。	・これから継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・朝礼終礼を実施することで毎日職員間で情報を共有し、業務の改善に努めています。	・これから継続していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・毎年実施しています。	・保護者等の意見を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・毎年実施し、自社のホームページ及び名古屋子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・これから継続していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	・適切な運営を行うべく外部の評価体制を取り入れて参りたく、鋭意検討中です。	・現在導入に向けて調整中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・社外、社内研修を通じて研修を行い、職員の資質の向上に努めています。	・これから継続していきます。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・職員間で支援会議を行い、そこで出た意見を踏まえて支援計画書を作成しています。	・これから継続していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・アセスメントシートを使用し、状況を把握しています。	・毎年アセスメントシートの内容を確認し、その都度適した項目か検討しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・ガイドラインに沿いつつ、子どもの姿に合った具体的な支援内容を設定しています。	・支援計画書の説明の際に、支援内容について保護者の方にもわかりやすいようにお伝えしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・支援会議や日々の朝礼終礼の中で支援について話し、職員間で共通理解を持ちながら支援にあたっています。	・療育について研修を行い、支援方法のスキルを上げていくとともに、さらに日頃から職員間の意見交換を活発にし、問題があれば速やかに対応できるようにします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・スタッフ会議で意見を集め、担当者が決定しています。	・これから継続していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・子どもたちが飽きない様に工夫して様々な活動を行っています。	・これから継続していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6		・個別活動と集団活動を組み合わせ作成しています。	・これから継続しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・日々朝礼にてその日の活動内容や子どもの支援について話し合い、確認作業をしています。	・これから継続していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・終礼にてその日の支援内容や気になった子どもの姿について話合っています。	・これから継続していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・終礼で支援や子どもの様子について振り返りを行い、記録を残しています。	・これから継続していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・行っています。	・これから継続していきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	・特に移行支援としては行えていませんが、相談員とのやりとりやサービス担当者会議で情報交換を行っています。	・各機関との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	・特に移行支援としては行えています。先生と日々の生活等の情報交換を行っています。	・学校との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	・保育所等と併用されている方が多いため、行っていません。	・情報収集し検討いたします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	・現状積極的参加ができていません。	・参加していきたいと考えていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時にお伝えしています。必要に応じて電話等でも連絡を取るようになっています。	・これからも継続していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		・プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に応じ、支援しています。	・今後実施に向けて検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に説明しています。	・これからも継続していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・支援計画作成時と更新時に支援内容について説明を行っています。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・相談があった場合は送迎時や電話にて対応し、職員間で情報共有しています。	・これからも継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	・夏祭りのイベントを開催して保護者同士が会う機会を作っています。	・感染対策を行い、今後も保護者参加のイベントの開催の機会を作っていくように努めていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・個別の相談があった場合には職員間で話し合い、速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・現在はあまり発進は出来ていないですが、今後発信していけるように努めていきます。	・より多くの方に見ていただけるように広報活動にも力を入れ、周知できるようにしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に写真等の個人情報の取り扱いについて職員間で確認します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・構造化や情報の図示などを行っています。	・配慮事項を職員間で共有し、よりよいものを作成して連絡ミスがないようにいたします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	・現状、新型コロナ感染予防の観点から行っていませんが、地域に根付いた運営を行う方法を現在模索しております。	・こういった形で導入ができるのか検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	・定期的にマニュアルの見直しを行っています。 ・訓練も月に1度実施しています。	・これからも継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。	・今まで以上に子どもたちが非常災害を身近に感じ、考えられるような訓練や学習を考えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	・年度初めに保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳等で保護者から情報	・これからも継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	・保護者からアレルギーの情報を得ています。	・必要であれば医師の指示書をいただくように対応します。 ・職員間での情報共有をより進めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	・各スタッフがすぐに手に取って振り返られるように事務所内の目につく場所に格納してあります。	・これからも継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	・虐待に該当する行為について職員間で確認しています。	・定期的に研修を行い、意識の向上に努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。	・必要に応じて保護者への事前説明を行い、支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。